

第52期中間決算説明資料

(平成19年10月1日～平成20年3月31日)

平成20年8月

日本フォームサービス株式会社

(証券コード: JASDAQ7869)



会社概要

会社名	日本フォームサービス株式会社
代表者	代表取締役社長 山下 岳英
創業	1956年(昭和31年)10月3日
資本金	395,950,000円
所在地	東京都江東区亀戸4-36-14
事業内容	通信機器収納ラック、液晶ディスプレイ設置環境機器、セキュリティ関連製品の製造販売並びに介護関連事業
連結子会社	フォービステクノ株式会社(100%)
従業員数	連結:147名 単体:138名
拠点数	営業所3、工場3(子会社含む)、介護事業所5、介護施設1
証券コード	JASDAQ 7869

事業内容

- ソリューション事業 部

- ソリューション事業 部

- 特機部

- 居宅介護事業

- 施設介護事業

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	第52期中間 連結会計期間末 平成20年3月31日現在		第51期中間 連結会計期間末 平成19年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	857.5	21.2	1,030.1	24.1
固定資産	3,196.2	78.8	3,245.0	75.9
資産合計	4,053.8	100.0	4,275.2	100.0

流動負債	837.4	20.6	968.8	22.7
固定負債	404.3	10.0	516.1	12.0
負債合計	1,241.8	30.6	1,484.9	34.7
純資産合計	2,812.0	69.4	2,790.2	65.3
負債純資産合計	4,053.8	100.0	4,275.2	100.0

(注)小数点第2位以下切捨て

(単位:百万円)

	第52期中間 連結会計期間		第51期中間 連結会計期間	
	自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日		自 平成18年10月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,491.7	100.0	1,434.8	100.0
売上原価	1,032.7	69.2	996.9	69.5
売上総利益	458.9	30.8	437.9	30.5
販売費及び一般管理費	392.2	26.3	411.1	28.6
営業利益	66.6	4.5	26.7	1.9
営業外損益	8.5	0.5	3.0	0.2
経常利益	75.1	5.0	23.7	1.7
特別損益	4.9	0.3	18.0	1.2
税金等調整前当期純利益	70.2	4.7	41.8	2.9
法人税等	34.5	2.3	19.2	1.3
当期純利益	35.7	2.4	22.5	1.6

(注)小数点第2位以下切捨て

(単位:百万円)

	第52期中間 会計期間末		第51期中間 会計期間末	
	平成20年3月31日現在		平成19年3月31日現在	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	829.7	20.4	1,001.4	23.3
固定資産	3,238.3	79.6	3,289.0	76.7
資産合計	4,068.0	100.0	4,290.5	100.0

流動負債	888.7	21.9	1,007.4	23.5
固定負債	404.3	9.9	516.1	12.0
負債合計	1,293.1	31.8	1,523.6	35.5
純資産合計	2,774.9	68.2	2,766.9	64.5
負債純資産合計	4,068.0	100.0	4,290.5	100.0

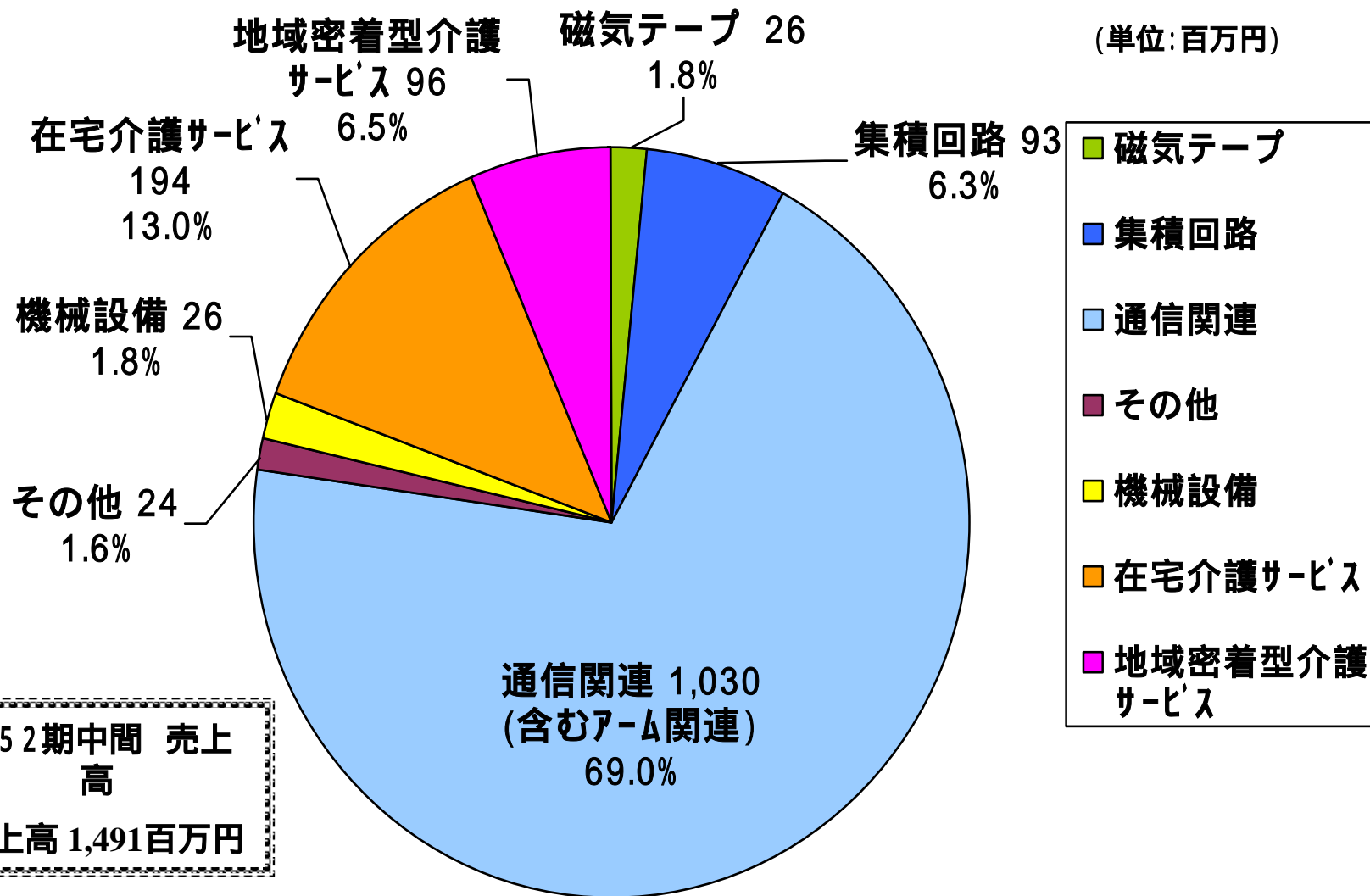
(注)小数点第2位以下切捨て

(単位:百万円)

	第52期中間 会計期間		第51期中間 会計期間	
	自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日		自 平成18年10月1日 至 平成19年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,490.1	100.0	1,434.5	100.0
売上原価	1,064.8	71.5	1,032.1	72.0
売上総利益	425.3	28.5	402.3	28.0
販売費及び一般管理費	368.2	24.7	387.1	27.0
営業利益	57.1	3.8	15.2	1.0
営業外損益	7.7	0.5	3.1	0.2
経常利益	64.9	4.3	12.0	0.8
特別損益	4.9	0.3	18.0	1.3
税引前当期純利益	59.9	4.0	30.0	2.1
法人税等	31.2	2.1	14.8	1.0
当期純利益	28.7	1.9	15.2	1.1

(注) 小数点第2位以下切捨て

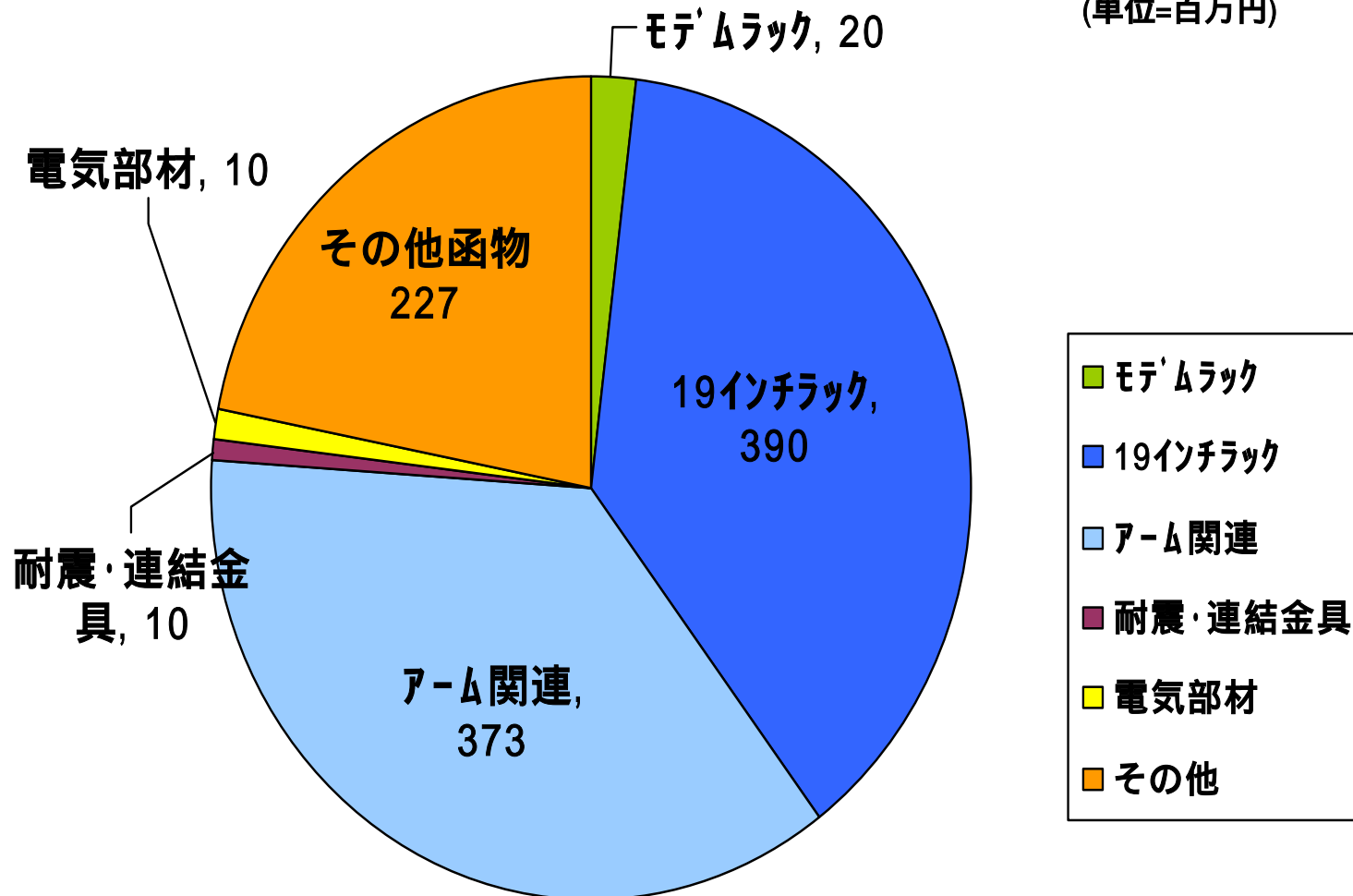
(単位:百万円)



第5 2期中間セグメント別売上高(連結)

(通信関連の詳細)

(単位=百万円)



個別事業の検証：ソリューション事業 部

(液晶モニターマウンティングソリューション製品)

- 液晶モニター設置環境の最適化の提案により、中間期は計画どおり
- 大型液晶モニターOEMスタンドの売上げ倍増(前年比)
- デジタルサイネージ・システムソリューションの拡販

大型液晶モニター(30in ~ 65in)市場
の成長が鍵！



10

個別事業の検証：ソリューション事業 部

(サーバーラック・セキュリティ製品)

- 主力製品は19インチラック = 競争激化による収益性の低下
- 販売先は通信事業及び金融市場のユーザー主体
 - * データセンター市場は緩やかに上昇傾向
- 付加価値の高い大型特注品の販売による利益確保
- セキュリティ対策の鍵管理システムは
順調なシェア拡大= “Forvice Traka,,



他社との
差別化

個別事業の検証：特機部

- 企業の設備投資低迷に伴い上半期損益計上
- 5 2 期通期予想も利益確保は困難 = 3 期連続赤字予想
- 自動搬送機器は今後も収益性は低迷

↓
5 2 期下半期より一時事業休止

↓
同部署の人材を開発に注力

個別事業の検証：介護事業部

居宅介護

◆ 慢性的赤字体質

- 平成18年4月の介護保険制度改正により、介護報酬の引き下げ
- 予防給付(要支援)軽度の利用者が約40%
- 登録ヘルパーの不足によりサービスが受けられない

施設介護

- ◆ 通所介護サービスは順調に利益を確保
- ◆ 認知症対応型共同生活介護は常時満室にて推移

第52期月次推移

(単位:千円)

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期計
経常 利益	居宅	22	221	-1,049	-2,539	-2,510	3,643	-2,212
	施設	490	550	-1,384	-1,592	704	1,833	601

当期の目標(函物及び機械設備関連事業)

◆ 商品の差別化による、国内シェアの拡大

* グリーンIT推進活動をサポートする

クーリングシステムラックの拡販

“グリーンITラック”

* セキュリティ対策を含めたトータル

ソリューションの提案による拡販

“Forvice Traka”

◆ 本業の強化により、収益性の確保(特注品の受注販売)

◆ 市場スピードへの対応

◆ 原材料の高騰に対し、設備投資による合理化を含めた製造コストダウン

当期の目標(介護関連事業)

- ◆ 収益性の低い訪問介護の見直し
 - * 経費削減、人員等の合理化により利益確保
- ◆ 介護予防運動を目的とした通所介護の利用者拡充
- ◆ 在宅介護支援センターの最大限の活用
- ◆ 慢性的な人手不足に対し、人材の確保及び定着を図る

当期の目標(連結子会社:フォービステクノ株式会社)

- ◆ 開発案件に対しスピードある対応
- ◆ 外部受注による売上高増
- ◆ 新規生産設備の導入による製造原価のコストダウン
- ◆ 大型液晶モニター関連製品の生産対応
- ◆ 生産性向上を目的とした人材育成